

# 公営企業会計

## 令和8年度予算(案)の概要

第3回上下水道経営審議会

令和8年2月26日提出資料



# 白馬村水道事業会計



## 有収率向上と老朽化対策

令和8年度に予定している建設改良工事には、

良工事には、

- ①白馬駅前無電柱化に伴う配水管布設替工事
- ②老朽化対策の配水管布設替工事
- ③機器の更新工事
- ④消火栓新設工事2箇所

老朽化対策の配水管布設替工事は4か箇所を施工予定で、9093万円を計上しています。

駅前は無電柱化に伴う工事については、2065万円の事業に対し、財源として県負担金695万円を予定しています。

この他に、正確な流量の把握のため、村内流量計19ヶ所の点検業務を実施する予定です。

## 物価高騰対応生活者支援事業(水道基本料金減免)

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、水道基本料金2ヶ月分の減免を実施します。対象期間は令和8年5月・6月検分(6月・7月請求分)です。

減免額として2400万円、システム改修費として30万円を計上しており、財源は全額国庫補助金(一般会計を通して交付)となる見込みです。

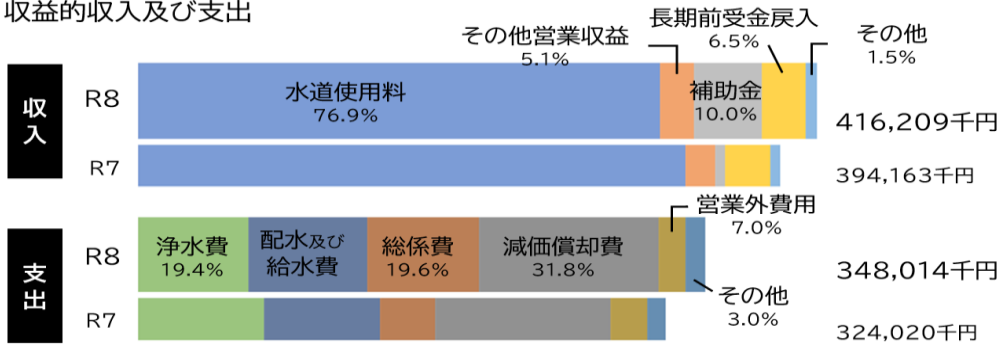
## 二股浄水場再整備事業

令和6・7年度に実施した官民連携可能性調査の結果を受けて、DB(設計・建設)での官民連携により事業者を選定する方針となりました。事業者選定・発注支援業務委託費として、1763万円を計上しています。

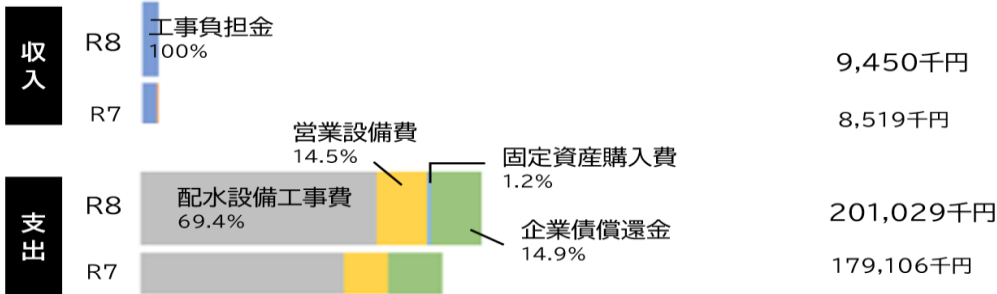
## 経理事務効率化

水道事業会計・下水道事業会計の経理事務効率化のため、企業会計システム・料金システムのリリース業務を実施します。システム構築に係る費用として2043万円を計上しています。(全体費用3058万円を下水道事業会計と按分)

## 収益的収入及び支出



## 資本的収入及び支出



## 《 主な予算 》

(※カッコは対前年比)

項目	金額	対前年比
<b>収入</b>		
- 水道使用料	3億2,006万円	(1,536万円減)
- 補助金(国庫補助金・職員児童手当分など)	4,147万円	(3,552万円増)
- 工事負担金(県補償金ほか)	945万円	(116万円増)
<b>支出</b>		
- 浄水費		
浄水場運転管理委託料	1,800万円	(増減なし)
浄水場再整備事業発注支援及び事業者選定業務	1,763万円	(新規)
- 配水及び給水費		
上下水道台帳補正・データ整備業務	707万円	(166万円増)
村内流量計点検業務	101万円	(新規)
工事請負費	1,040万円	(6万円増)
修繕費(切欠保 EM 不断水バルブ 工法仕切弁取付工事ほか)	329万円	(3万円減)
- 総係費		
企業会計システム・料金システムリリース業務	2,043万円	(新規)
- 動力費(二股浄水場・源太郎配水池等電気代)	3,070万円	(60万円増)
- 建設改良費 工事請負費	1億2,646万円	(2,046万円増)
- 企業債償還金	2,992万円	(222万円減)
- 支払利息	370万円	(48万円減)

# 主な建設改良事業

## 〈配水管布設替〉

白馬駅前無電柱化 白馬町  
 〔箇所〕国道148号線  
 (白馬館〜除雪基地)  
 〔延長〕①225m/②40m  
 〔口径〕①100mm/②75mm  
 〔事業費〕2065万円  
 〔財源〕県補償費 695万円

配水管布設替 深空  
 〔箇所〕村道0105線  
 (みそら野交差点北)  
 〔延長〕290m  
 〔口径〕150mm  
 〔事業費〕3151万円

配水管布設替 みそら野1  
 〔箇所〕八方筋(ロータリー南)  
 〔延長〕①190m/②20m  
 〔口径〕①150mm/②75mm  
 〔事業費〕2497万円

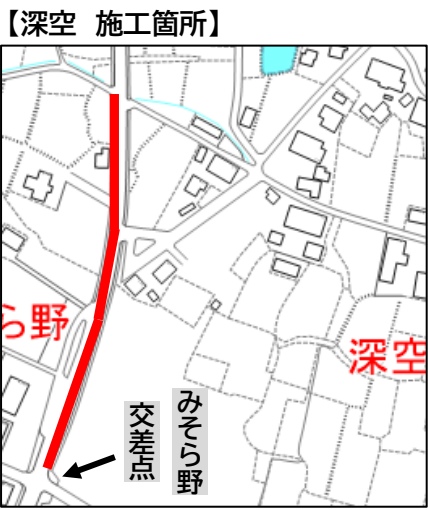
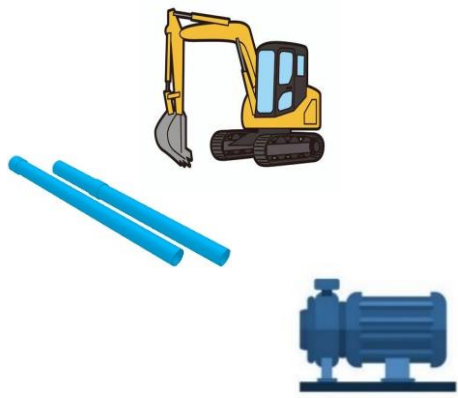
配水管布設替 みそら野2  
 〔箇所〕ごりゆう本通り(矢崎筋東)  
 〔延長〕198m  
 〔口径〕75mm  
 〔事業費〕1712万円

配水管布設替 めいてつ  
 〔箇所〕南3条通り  
 〔延長〕195m  
 〔口径〕75mm  
 〔事業費〕1734万円

## 〈主な機器の更新〉

ろ過水用高感度濁度計更新  
 〔箇所〕二股浄水場  
 〔事業費〕855万円

減圧弁更新  
 〔箇所〕飯田グラウン下前  
 〔事業費〕397万円



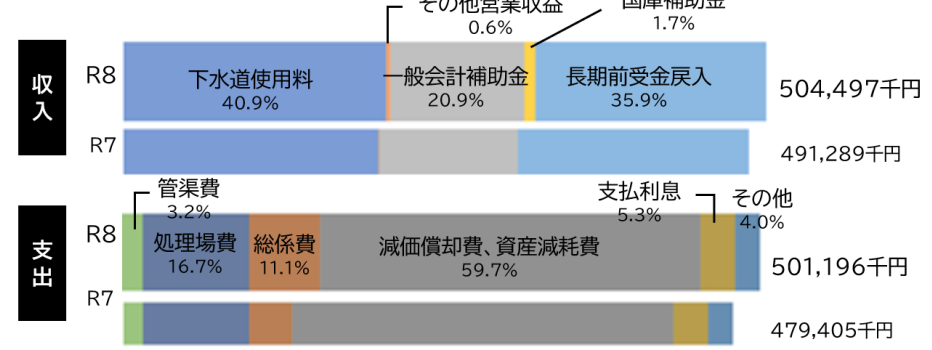
# 下水道事業会計

## し尿等投入施設整備

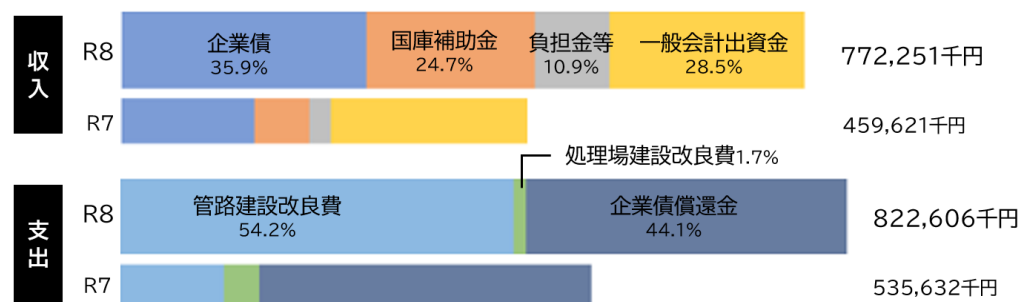
令和8年度は、令和7年度に引き続き、設計施工監理業務、建設工事の実施を予定しています。



### 収益的収入及び支出



### 資本的収入及び支出



### 《 主な予算 》

(※カッコは対前年比)

区分	項目	金額(万円)
収入	下水道使用料	2億632万円(676万円増)
	一般会計繰入金(3条及び4条)	3億2,540万円(809万円減)
	企業債	2億7,730万円(1億2,800万円増)
	国庫補助金(3条及び4条)	1億9,898万円(1億3,561万円増)
	工事負担金	6812万円(5,197万円増)
支出	し尿等投入施設整備設計施工監理業務	1,992万円(1592万円増)
	し尿等投入施設整備土木工事	3億9903万円(3億221万円増)
	浄化センター耐震化実施設計業務	1400万円(2,600万円減)
	浄化センター運転維持管理委託料	4,733万円(増減なし)
	企業会計システム・料金システム更新業務	1015万円(新規)
	支払利息	2,658万円(4万円減)
	企業債償還金	3億6,274万円(1,444万円減)

## 浄化センター耐震化及びストックマネジメント

令和8年度は、白馬村浄化センターの管理施設、汚泥濃縮施設、汚泥脱水施設、沈砂池施設の更新及び耐震化詳細設計を予定しています。

## 経理事務効率化

水道事業会計・下水道事業会計の経理事務効率化のため、企業会計システム・料金システムのリプレース業務を実施します。システム構築に係る費用として1015万円を計上しています。(全体費用3058万円を水道事業会計と按分)

令和7年度に予定していた建設工事のうち、一部土木工事が繰越となる見込みで、こちらも令和8年度に実施予定です。施設の整備は、令和9年度まで行う計画となっています。事業費の財源は、2分の1が国庫補助金、残りの2分の1が山麓事務組合からの負担金で、この負担金は白馬村及び小谷村の一般会計から山麓事務組合へ支出されています。

令和7年度に実施予定となっていた、管理施設、処理水再利用施設、汚泥濃縮施設、汚泥脱水施設、沈砂池施設の改築及び耐震化詳細設計については、入札不調により令和8年度に繰越となる見込みのため、事業の全体計画が約1年遅れる可能性があります。事業費の財源は、2分の1が国庫補助金、残りの2分の1が単独事業分で、企業債発行による借入で賄います。